

第1学年 算数科学習指導案

児童 1年1組 男子17名 女子20名 計37名
指導者 佐藤 規行
すこやかサポート 湯澤 卓

1 単元名 「たしざん」(くりあがりのあるたしざん) 11時間

2 単元について

(1) 教材について

第1学年の目標は、「加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。」ことである。

本単元では、1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算のしかたを学習していく。

ここで扱う計算は、被加数、加数ともに1位数であるが、繰り上がることを「10といくつ」ととらえるところが要点となる。そこで、10に対する補数がつくりやすいように、被加数が9、8、7の場合から導入している。次に、被加数を分解して10の補数をつくり計算していく方法を学習していく。また、今までに学習した加法の意味理解を深め、繰り上がりのある計算になる場合にまで拡張していく。

(2) 児童の実態

これまでに、「あわせていくつ」や「のこりはいくつ」の学習では、ブロックを使いながら、学習をすすめてきた。一つずつ動かすのではなく、10のケースを用いながら、まとめてブロックを動かして、数をおくように練習してきた。また、「10よりおおきかず」では、2本のブロックを使い10といくつをおかせたり、ブロック図に表したりすることにも触れさせてきた。多くの子どもたちが、素早くブロック操作ができるようになってきているが、まだ、一つずつ数えないと数をブロックでおけない子が数名いる。

算数の学習に対しては、好きと答える子が多く、すすんで計算練習に取り組む子も多いが、足し算を引き算にするなど、問題を最後までよく読めない子が数名いる。

レディネステストの結果では、 $9 + 3$ の問題を37名中31名正答していたが、10の補数を求める問題で誤答した子が数名みられたので、10の補数の求め方と共に、数の分解の問題を繰り返し復習していきたい。

(3) 指導に当たって

10のまとまりを意識できるよう、初めの段階では、ブロックケースを使いながらブロック操作をさせていく。また、やり方になれてきたら数の分解図(さくらんぼ図)をかいたり、計算の方法を言葉で話したり、文に書いてみたりしながら、いろいろな方法で答えを出させていきたい。

練習の時間には、それぞれのスピードに応じて時間いっぱいに取り組んでいけるよう何種類かのプリントを工夫し、楽しく計算に取り組ませていきたい。また、早く終わった子には、発展問題にも取り組ませていきたい。

毎時、サポート教諭が入り、TT指導をすすめていく。一斉指導の場では、個別指導を要する児童の支援をし、練習の場面では、机間指導の役割分担をしながら、一人一人の子に目を向けていけるようにしていきたい。また、かあどれんしゅうの第4時では、習熟発展の時間としてサポート教諭が二人入り、いろいろな学習の場を設定し、「さんすうゲーム大かい」に楽しく取り組ませていきたい。

(4) 研究仮説との関わり

ア 選択学習(視点1)

練習の時間のプリントは、簡単なものから、少し難しいものへと内容を変えながら、終わった順にどんどん進めるようにしていく。

イ 指導と評価(視点3)

前時に難しいと感じていた児童や理解が不十分と思われる児童のようすをみながら、学習を進めていく。

3 単元の目標

(1) 単元の目標

1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算のしかたを理解し、それをを用いることができる。

〔関心・意欲・態度〕 数の構成や10の補数などの学習経験を生かして、1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算のしかたを進んで考えようとする。

〔数学的な考え方〕 20までの数の構成や10の補数に着目して計算のしかたを考える。

〔表現・処理〕 1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算ができる。

〔知識・理解〕 1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算のしかたを理解する。

4 単元の評価規準

	概ね満足
関心・意欲・態度	10の合成・分解の学習を生かして、1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算のしかたを進んで考えようとしている。 加法を用いて身の回りの問題を解決するなど、加法をすすんで用いようとしている。
数学的な考え方	繰り上がりのあるたし算のしかたについて、10のまとまりに着目して考えている。
表現・処理	繰り上がりのある1位数どうしの加法計算が正しくできる。
知識・理解	加数分解による計算のしかたを理解している。 被加数分解による計算のしかたを理解している。

5 指導計画（11時間）

小単元	時	目 標	評価規準と支援	単元の評価規準との関連
			概ね満足	
9 + 2 の け い さ ん	1	・ 1 位数どうしの繰り上がり ・ のある加法で、被加数を分解 して計算する方法について理 解する。	・ 繰り上がりのあるたし算のしかたについて、1 0のまとまりに着目して考えている。 ・ 加数分解による計算のしかたを理解している。	考 知 表 知
	3 4	・ 1 位数どうしの繰り上がり ・ のある加法で、加数を分解し て計算する方法の理解を确实 にする。 (本時4 / 4時)	・ 加数分解による計算が正しくできる。 ・ 被加数が8, 7の場合でも、10のまとまりを つくればよいことを理解している。	
3 + 2 の け い さ ん	1 2	・ 1 位数どうしの繰り上がり ・ のある加法で、被加数を分解 して計算する方法について理 解する。	・ 被加数分解のしかたを10のまとまりに着目し て考えることができる。 ・ 加数分解と被加数分解の方法を使い分けて計算 することが分かる。	考 知
か あ ど れ し ゆ う	1 2 3 4 5	・ たし算カードを使って、整 理していく中で、くり上がり のあるたし算のきまりを見つ ける。 ・ たし算カードを使ったゲー ムをする中でくり上がりのあ るたし算の習熟を図る。 ・ くり上がりのあるたし算の 計算を適用し、文章問題を解 く。 ・ さんすうゲーム大かいをし、加法の計算能力を高め る。 ・ くり上がりのあるたし算の まとめをする。	・ 加法を用いて身の回りの問題を解決するなど、 加法を進んで用いようとしている。 ・ 繰り上がりのある1位数どうしの加法計算が正 しくできる。	関 表

6 本時の指導（ 4 / 1 1 時間）

（ 1 ） 目標

- ・ 1 位数どうしの繰り上がりのある加法で，加数を分解して計算する方法の理解を確実にする。

（ 2 ） 具体的評価規準

	十分満足	概ね満足	努力を要する児童への支援
表現 処理	・ 加数分解による計算が速く正しくできる。	・ 加数分解による計算が正しくできる。	・ ブロックを操作して 10 のまとまりをつくらせる。
知識 理解	・ 1 位数どうしの繰り上がりのある加法で，加数を分解して 10 のまとまりをつくれればよいことを理解している。	・ 1 位数どうしの繰り上がりのある加法で，加数を分解して 10 のまとまりをつくれればよいことを理解している。	・ ブロックケースを用いて，10 のまとまりをつくらせる。

（ 3 ） 授業研究の視点

視点 1 本時では，計算プリントが速く終わった児童のために何枚かのプリントを用意し，どの児童も時間いっぱい取り組めるようにする。

視点 3 本時では，座席表を使い，担任とすこやかサポートとが前時までの学習状況をみながら，個別に支援をして歩く。自力解決の場面では，個別の指導を要する児童に対して，ブロックケースを活用しながら考えさせる。

（ 4 ） 展開

段階	学習活動	支援・留意点（ ）と評価（ ）
つかむ	1．前時の学習を想起する。 2．問題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> のりゆきせんせいは どんぐりを 7 こ，たくせんせいは 6 こ ひろいました。 あわせて なんこ ひろいましたか。 </div>	前時に使用した紙板書を見ながら， $8 + 3$ の計算も 10 のまとまりを作って解いたことを確認する。 どんぐりの紙を見せながら本時の問題文につなげる。 分かっていること，聞いていることに印をつける。
8 分	3．本時の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> $7 + 6$ の けいさんの しかたを かんがえよう </div>	
ふかめる	4．自力解決をする。 ・ ブロック操作をして解く。 ・ さくらんぼ図で解く。	なかなか解決の方法が思い浮かばない児童には，ブロックケースに着目させ，あといくつで 10 になるのかに気づかせる。 数えたしに固執している児童には，ブロック

22分	<p>5. 自分の考えを発表しあう。</p> <p>6. 類似問題をする。 7 + 5 をけいさんしよう</p>	<p>ケースをもとに，10のまとまりを意識させる。</p> <p>10のまとまりをつくって計算している。</p> <p>被加数が7の場合も，10のまとまりをつくって計算することを確かめさせる。</p>
15分	<p>7. まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <p>7 + いくつの けいさんも 10のまとまりを つくって かんがえます。</p> </div> <p>8. 練習問題を解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習プリント(1枚目) ・練習プリントの2枚目以降を，自分のペースで解く。答えは自分でまるつけをする。 <p>9. 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートに振り返りを書く。 	<p>教師2人が，1枚目の練習プリントを解き終わった児童全員にまるつけをする。</p> <p>加数分解による計算が正しくできている。</p> <p>2枚目以降のプリントは紙の裏に答えを印刷し，児童自身にまるつけをさせる。</p> <p>支援を要する児童を中心に机間指導をする。</p>